

《課題名》

腹部領域疾患に対する超高精細 CT の有用性の検討

《研究対象者》

2009 年 1 月 1 日より滋賀医科大学附属病院に入院あるいは通院され、腹部領域疾患に対する診断および治療を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報（及び生体試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名：腹部領域疾患に対する超高精細 CT の有用性の検討

研究期間： 承認日(2019年 5 月 22 日) ~ 2023 年月 03 月 31 日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 外科学講座 教授 谷 眞至

（２）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

1972 年に初めて CT が登場し、1998 年に世界初の 4 列マルチスライス CT が登場し、2000 年代には急速な多列化が進み、2004 年には 64 列 CT が登場しました。このころより 2-3mm の薄いスライス厚の画像をルーチンに撮影することが可能となり、さらに再構成することで評価可能な 3 次元画像を作成できるようになりました。現在では 320 列 CT が登場しており、その画質はさらに向上し、腹部領域疾患の診断、治療効果判定、術前のシミュレーションなどに利用されています。近年ではさらに高精細な CT が開発され、当院にも 2019 年 2 月より導入されます。超高精細 CT は Z 方向のスライス幅は 0.25mm と従来 CT の半分、X-Y 方向には従来 CT の 2 倍となる 1792ch の素子を配列することで、従来 CT では X-Y 方向 512×512 マトリックスだった画像再構成は、1024×1024、2048×2048 マトリックスまで選択が可能となり、空間分解能が以前の CT よりも向上し、より微細な構造物の描出に威力を発揮するとされています。しかし、この超高精細 CT は近年登場したものであるため、腹部領域疾患において従来 CT と超高精細 CT を比較した報告は認めていません。

そこで、本研究では、超高精細 CT を用いることで、腹部領域疾患に対する詳細な診断から治療効果判定が従来 CT 以上の精度が得られるか否かを検討することを目的としています。本研究により、腹部領域疾患における超高精細 CT の位置づけが明確となり、診断精度が従来 CT 以上の精度を有していれば、患者さんの診断能力の向上、ひいては患者さんの予後の改善に貢献できると考えられます。

（３）研究の方法について

既存データや試料を用いた研究。当院で 2009 年 1 月 1 日以降に腹部領域疾患に対して腹部 CT を

用いて診断や治療を施行された患者さんの患者因子や腫瘍因子、治療因子を評価します。患者さんの背景因子(年齢、性別など)、臨床的因子(血液検査結果、CT検査結果、CT値など)、病理学的因子の収集を行い、診断の精度や、術後の合併症などの短期成績、生存期間などの長期成績について、統計学的に解析を行っていきます。病理学的因子に関しては、手術の際に切除させていただきました病理標本を使用させていただきます。

(4) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用(又は他の研究への提供を)停止することができます。停止を求められる場合には、(2022年12月31日までに)下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 外科学講座 前平博充

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2238

FAX 番号：077-548-2240

メールアドレス：hqsurge1@bell.e.shiga-med.ac.jp